

横浜ユーラシア文化館企画展
横浜マニラ姉妹都市締結50周年記念事業

貿易都市 マニラの栄光

考古学が語る太平洋航路の成立と発展

Glorious Port City Manila: through the Archaeological Excavations

フィリピン国立博物館収蔵資料

From the Collection of the National Museum of the Philippines

2016.1/30 | 土 | ~ 4/3 | 日 |

Saturday 30 January to Sunday 3 April 2016



青花磁片象嵌文土器



青花皿



乳棒



日本刀
(柄から鐔まで)



乳鉢

● YOKOHAMA



銀貨



オリブ壺

● MANILA

黒褐釉四耳壺

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

(主催)横浜ユーラシア文化館 (共催)横浜市教育委員会 (出陳協力)フィリピン国立博物館

(後援)フィリピン共和国大使館、横浜市国際局、朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、NHK横浜放送局、tvk

Organized by: Yokohama Museum of EurAsian Cultures

Co-organized by: Yokohama City Board of Education

Co-operated by: National Museum of the Philippines

Nominal Support by: Embassy of the Republic of the Philippines, Tokyo Yokohama City International Affairs Bureau Asahi Shimbun Yokohama

Kanagawa Shimbun Nikkei Inc. Yokohama Mainichi Shimbun Yokohama Yomiuri Shimbun Yokohama Japan Broadcasting Corporation Yokohama

Television Kanagawa Inc.

横浜ユーラシア文化館企画展
横浜マニラ姉妹都市締結50周年記念事業

貿易都市マニラの栄光 考古学が語る太平洋航路の成立と発展

フィリピン国立博物館収蔵資料

15世紀中葉、ヨーロッパ諸国は、アジアへそして未知の世界へ、競って大規模な航海を試み始めました。大航海時代の始まりです。彼らが求めたのは中国の高級磁器や東南アジアの香辛料です。それらを得るために当時のヨーロッパの強国スペインがアジアの拠点とした場所、それがマニラでした。以来、マニラは、中国、東南アジア、新大陸、そしてヨーロッパの文物が行きかう国際都市として栄え、マニラから太平洋を横断して新大陸のアカプルコに至る航路が確立されます。日本の肥前の磁器がフィリピン経由で新大陸まで運ばれたことも、考古学的資料から明らかになっています。

本展では、横浜・マニラ姉妹都市提携50周年を記念し、フィリピン国立博物館所蔵の考古学資料約60点を展示して、新大陸を経由してヨーロッパとアジアを結んだ港町マニラの華やぎを伝えます。

白磁獅子
イントラムロス出土



展示構成

プロローグ Prologue

アジアの富を求めて—スペインからメキシコ経由マニラへ

Longing for Wealthy Asia: from Spain to Manila via Mexico

I. マニラ前史

スペイン時代以前のマニラ—サンタ・アナ遺跡の調査成果

Manila before the Coming of Spanish Power: Excavation at Santa Ana

II. スペイン人によるマニラの建設と発展

イントラムロスの建設と考古学的調査の成果

Walled City Manila Constructed by Spanish Colonialists: Excavation at Intramuros

III. スペイン期におけるガレオン貿易とマニラの発展

沈没船サン・ディエゴ号の調査成果

Prosperity of Manila in the Age of Trading: Excavation at the San Diego Wrecksite

エピローグ Epilogue

現代の太平洋航路—アメリカ大陸から横浜、そしてアジア諸国へ

Present Pacific Ocean Route: from America to Yokohama onto Asia

マニラ市内 Manila

会場 | 横浜ユーラシア文化館 3階企画展示室ほか
Thematic Exhibition Gallery

開館時間 | 午前9時30分～午後5時
毎週水曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館
(券売は閉館30分前まで)
Hours 9:30 a.m. - 5:00 p.m.
Open until 7:00 p.m. on Wednesdays (except for National Holidays)
(Last admission 30 minutes before closing)

休館日 | 月曜日
ただし3月21日(月・祝)は開館、3月22日(火)は休館
Closed on Mondays (except 21 March), and Tuesday 22 March

観覧料 | 一般300円、小・中学生150円
Admission ¥300 for Adults,
¥150 for primary and junior high school students

- ・企画展観覧券で2階常設展、4階横浜都市発展記念館もご覧いただけます。
- ・「濱ともカード」「障害者手帳」「愛の手帳(療育手帳)」などをお持ちの方は無料です。
- ・毎週土曜日、小学生・中学生・高校生は無料です。

横浜ユーラシア文化館
Yokohama Museum of EurAsian Cultures

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 12 Nihon-odori, Naka-ku, Yokohama
Tel.045-663-2424 Fax.045-663-2453 http://www.eurasia.city.yokohama.jp/

Events | TPAM ショーケース 2016 参加 鷹島姫乃 日時 2/11(木・祝).12(金).13(土).14(日) 各日 13:30 ~、15:15 ~ 会場 1階旧第一玄関
| 開館祭 2016 全館無料 日時 3/12(土).13(日) 各日 9:30 ~ 17:00 中庭にゲル登場! モンゴルの民族衣装も着られます。

関連企画

講演会「考古学から見たマニラ」

講師: 田中和彦

(上智大学言語教育研究センター講師、フィリピン国立博物館客員研究員)

日時: 2016.2/13(土) 14:00~15:30 ※予定 (受付13:30~)

会場: 情文プラザ(横浜情報文化センター1階・当館隣り)

受講料: 500円(企画展招待券付)

申込締切: 2016.2/2(火) 必着

2/6(土)までに受付票をはがき、またはメールでお送りします。

定員: 80名(申込み多数の場合は抽選)

※EAハマ発カード会員の方は優先的に受け付けますので会員番号をお書き添えください。

往復ハガキでの申込み

申込人数は一通につき2名まで。参加人数、参加者名(全員)、住所、電話番号をご記入ください。

宛先:

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 横浜ユーラシア文化館

企画展「貿易都市マニラの栄光」講演会係

当館ウェブサイトからの申込み

アドレス

http://www.eurasia.city.yokohama.jp/

入力フォームに必要事項を記入し、送信してください。後日こちらからメールにて、ご連絡いたします。

ギャラリートーク

学芸員による展示解説

日時: 2/7(日).2/21(日).2/24(水).3/6(日).3/20(日).3/30(水)

(水)=18:00~、(土)=11:00~ 各回30分程度

会場: 3階企画展示室

料金: 無料(企画展観覧料が必要です)

ワークショップ

日時: 企画展会期中の土、日、祝日 9:30~16:30 1階は入場無料

会場: 1階図書コーナー

料金: 無料

●東西貿易地図ぬりえ

●ペーパークラフト帆船作り

関連展示

横浜マニラ姉妹都市締結50周年

姉妹都市締結の書類や記念品等を展示。

日時: 2016.1/30(土)~4/3(日)

会場: 2階常設展示室一部

写真展

「フィリピンを掘る

フィリピン考古学を支えた日本人」

日時: 2016.1/30(土)~4/3(日)

会場: 1階ギャラリー

1階は入場無料



写真展「フィリピンの教会建築」

日時: 2016.1/30(土)~4/3(日)

会場: 1階旧第一玄関

1階は入場無料



アクセス | みなとみらい線 日本大通り駅 3番出口直結
JR 園内駅 出口 横浜市営地下鉄 環状線 3番出口から徒歩10分
横浜市内バス 日本大通り駅南行前 下車徒歩1分